

SEEDs取組事例：デジタル複合機の印刷枚数削減ナッジ

【趣旨】

堺市では、職員が庁内事務作業で使用する紙を2020年度比で50%削減する目標を設定。デジタル複合機による印刷の削減を後押しするため、ナッジを活用した実験を行った。

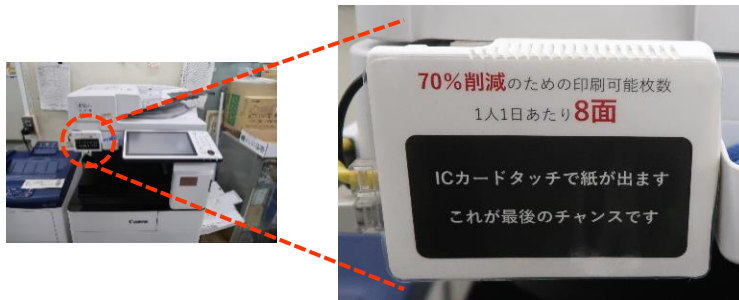
【課題（ボトルネック）】

- ・職員が事務処理の際、参考資料を紙で印刷したり、関係課や上司への説明に紙資料を使う
- ・不用になった紙類を廃棄する

【概要】

- 対象 堺市環境局本庁8課の職員
- 期間 2021年10月1日～11月30日
- 内容

①執務室内のデジタル複合機に、1人1日あたりの印刷可能枚数等のメッセージを掲示



②執務室内の紙類リサイクルボックスを、小型ダンボール1個程度に小型化



【活用したナッジ】

- ・紙の出力直前での働きかけ (Timely)
- ・目標達成への規範の提示 (Social)
- ・物理的環境の変化による望ましくない行動への摩擦付加 (Easy)

【結果及び考察】

- ・印刷枚数削減率について、②では約26.8%pt向上し、①では約17.9%pt増加（悪化）した。
- ・実施後アンケートでは②で印刷を控えようと思った職員は約17%と削減意識への影響は少なかったことがわかり、印刷を避ける行動を無意識に促した可能性があると考えられ、オフィス等での展開も期待できる。

グループ	職員数	介入内容	印刷枚数削減率 (実験前)
介入群A	35人	①+②	▲64%
介入群B	54人	①	▲61%
介入群C	37人	②	▲67%
対照群X	57人	なし	▲67%

群	介入内容	印刷枚数削減率 (差分)の平均値	印刷枚数削減率への推定効果 (対照群との差)
介入群A	①+②	▲23.7%pt	▲25.5%pt
介入群B	①	20.6%pt	17.9%pt
介入群C	②	▲22.4%pt	▲26.8%pt*
対照群X	なし	2.1%pt	-

※回帰分析により統計的有意性を検証

* : 5%有意